



平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年10月9日

上場会社名 サイバーステップ株式会社

コード番号 3810 URL <http://www.cyberstep.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 類

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長

(氏名) 今坂 るみ

四半期報告書提出予定日 平成21年10月13日

TEL 03-5465-1500

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	292	—	△34	—	△37	—	△53	—
21年5月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年5月期第1四半期	△2,706.02		円 銭					
21年5月期第1四半期	—		—					

当社グループは、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	822	371	40.8	16,975.12
21年5月期	875	419	44.5	19,723.77

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 335百万円 21年5月期 388百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 連結累計期間 通期	884	136.4	194	—	191	—	142	—	7,156.65	
	1,600	38.4	189	—	184	—	89	—	4,489.16	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名)) 除外 一社 (社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第1四半期 21,755株	21年5月期 21,755株
② 期末自己株式数	22年5月期第1四半期 1,993株	21年5月期 2,033株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年5月期第1四半期 19,724株	21年5月期第1四半期 20,116株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、連結業績予想については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、世界的な景気後退の影響等により、企業収益や雇用情勢の悪化傾向が続いており、景気は全般的に厳しい状況で推移いたしました。また、雇用環境・所得環境の悪化を背景とした将来に対する不透明感から、消費者の生活防衛意識は高く、個人消費も厳しい景況感が続いております。

わが国のゲーム業界においては、オンラインゲームユーザーは伸びており市場の発展も見込めるものの、今後事業再編の動きが活発化し、国内外のゲームメーカー、あるいは異業種との統合や提携などのさまざまな動きが出てくる可能性も否めません。

このような経済状況のもとで当社グループは、創業時から一貫して単独で国際競争力のあるオンラインゲームの開発を続け、海外各国の運営会社との協力関係を深めながら、日本を含め広く13カ国地域のユーザーの皆様に魅力あるゲームを楽しんでいただいております。

当第1四半期連結会計期間には、前連結会計年度において国内先行でサービス開始された新規タイトル『ゲットアップド2』、『コズミックブレイク』の、海外展開に向けた第一歩として、台湾のGamania Digital Entertainment Co., Ltd. 社と台湾における『ゲットアップド2』の正式サービスを開始しました。さらに連結子会社CyberStep Communications, Inc. は『ホーリービースト オンライン』のサービスを開始しました。

また、既存ゲームタイトルは主にアジア市場において売上が遅減傾向が続いているものの、日本において自社運営しております既存タイトル、新規タイトルはともにユーザーの皆様から高い評価を得ております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は、ライセンス料売上12百万円、ロイヤリティー売上118百万円、自社運営売上は161百万円、売上高合計で292百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各国での新規タイトルの円滑なサービス開始に向けた人的物的投資を、コスト統制を強化しつつ積極的に行い、営業損失△34百万円、経常損失△37百万円、税金等調整前四半期純損失△36百万円となりました。

海外からのロイヤリティー収入及び入金ライセンス料にかかる外国税額について控除しきれない金額が発生したため、法人税等を16百万円計上し、最終的に四半期純損失は△53百万円となりました。

なお、当社グループは、重要な営業損失、経常損失、四半期純損失を計上し、かつ、継続的な営業損失を計上し、当第1四半期連結会計期間において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象が存在しております。内容については、「4. その他 (4) 継続企業の前提に関する重要事象等」をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は822百万円であり、前連結会計年度末に比べて52百万円減少しております。主な要因は、売掛金の減少（34百万円）、未収消費税等の減少（11百万円）、有形固定資産の減少（8百万円）であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は450百万円であり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少しております。主な要因は、未払金の増加（2百万円）、預り金の減少（4百万円）、長期借入金の減少（2百万円）であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は371百万円であり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少しております。主な要因は、新株予約権の増加（5百万円）、利益剰余金の減少（56百万円）であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、409百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間の営業活動におけるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失36百万円に対し主として減価償却費の計上7百万円、株式報酬費用の計上7百万円、売上債権の減少34百万円、未払金の増加2百万円、未収消費税等の減少11百万円、法人税等の支払額19百万円となりました。

これらの結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、6百万円の収入となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間の投資活動におけるキャッシュ・フローは、主として定期預金の預入による支出40百万円であり、この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは43百万円の支出となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間の財務活動におけるキャッシュ・フローは、主として長期借入金の返済による支出2百

円であり、この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは1百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、現時点におきましては、平成21年7月14日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、様々な要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクには、以下のようなものがあります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

新規ゲームタイトルがヒットしなかった場合のリスク、自社運営サービスが思うように進められなかつた場合のリスク、ユーザーの個人情報に関するリスク、システム障害に関するリスク、人材の確保に関するリスク

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）において該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

（固定資産の減価償却費の算定方法）

有形固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用しているため、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当第1四半期連結会計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）において該当事項はありません。

(4) 繙続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失、当期純損失、重要なマイナスの営業キャッシュ・フローを計上したことによって、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象（以下「重要事象等」という。）が発生いたしました。当第1四半期連結会計期間においても、重要な営業損失、経常損失、四半期純損失を計上し、かつ、継続的な営業損失を計上し、重要事象等が存在しております。

当該状況を解消すべく、前連結会計年度より実施している新規採用の抑制、販売促進費の適正化、その他の費用の統制などの諸施策への取り組みを引き続き実施しつつ、効率的な事業活動を行い、かつ、当社グループ開発の新規オンラインゲームの各国・地域での立ち上げを着実に行いロイヤリティー等の収入を確保することにより、損益及び資金の状況は改善する見込となっております。

また、取引金融機関と良好な取引関係を継続し、前連結会計年度から引き続き財務基盤の安定を図ってまいります。

このように、当第1四半期連結会計期間においては継続企業の前提に関する重要事象等は存在しているものの、上記の既に実施している施策を含む効果的かつ実行可能な対応を行うことにより、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないものと判断いたしております。

なお、文中の将来に関する事項は、現時点において当社が合理的であると判断したものであります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	509,679	511,119
売掛金	102,833	136,947
原材料及び貯蔵品	369	548
その他	24,177	30,327
流动資産合計	637,060	678,943
固定資産		
有形固定資産	67,846	76,126
無形固定資産		
その他	9,968	10,799
無形固定資産合計	9,968	10,799
投資その他の資産		
保証金	96,891	97,311
その他	10,430	11,850
投資その他の資産合計	107,322	109,161
固定資産合計	185,137	196,086
資産合計	822,197	875,030
負債の部		
流动負債		
買掛金	2,343	2,779
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	8,004	8,004
未払法人税等	6,429	9,136
前受金	254,730	254,371
その他	50,966	50,298
流动負債合計	382,473	384,590
固定負債		
长期借入金	67,994	70,662
固定負債合計	67,994	70,662
負債合計	450,467	455,252

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年8月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年5月31日)

純資産の部

株主資本		
資本金	334, 895	334, 895
資本剰余金	324, 895	324, 895
利益剰余金	△106, 264	△49, 364
自己株式	△215, 579	△219, 906
株主資本合計	337, 945	390, 519
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△2, 483	△1, 527
評価・換算差額等合計	△2, 483	△1, 527
新株予約権	36, 267	30, 785
純資産合計	371, 729	419, 777
負債純資産合計	822, 197	875, 030

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	292,155
売上原価	101,499
売上総利益	190,656
販売費及び一般管理費	225,078
営業損失（△）	<u>△34,422</u>
営業外収益	
受取利息	125
還付加算金	33
営業外収益合計	<u>159</u>
営業外費用	
支払利息	762
為替差損	2,353
その他	208
営業外費用合計	<u>3,324</u>
経常損失（△）	<u>△37,587</u>
特別利益	
新株予約権戻入益	<u>2,280</u>
特別利益合計	<u>2,280</u>
特別損失	
固定資産売却損	1,539
固定資産除却損	87
特別損失合計	<u>1,627</u>
税金等調整前四半期純損失（△）	<u>△36,933</u>
法人税、住民税及び事業税	16,439
法人税等合計	<u>16,439</u>
四半期純損失（△）	<u>△53,373</u>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成21年6月1日
 至 平成21年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△36,933
減価償却費	7,757
長期前払費用償却額	1,269
株式報酬費用	7,762
新株予約権戻入益	△2,280
受取利息	△125
支払利息	762
為替差損益（△は益）	1,161
固定資産売却損益（△は益）	1,539
固定資産除却損	87
売上債権の増減額（△は増加）	34,098
たな卸資産の増減額（△は増加）	178
仕入債務の増減額（△は減少）	△410
前受金の増減額（△は減少）	359
未払費用の増減額（△は減少）	584
その他の資産の増減額（△は増加）	6,790
その他の負債の増減額（△は減少）	3,750
小計	26,351
利息及び配当金の受取額	125
利息の支払額	△999
法人税等の支払額	△19,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△40,000
有形固定資産の取得による支出	△1,113
有形固定資産の売却による収入	739
その他	△3,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△2,668
ストックオプションの行使による収入	800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,961
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△41,416
現金及び現金同等物の期首残高	450,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	409,096

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

当社グループはオンラインゲーム事業を営んでおり、同一セグメントに属するゲームの開発、運営を行っています。当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	129,776	3,344	133,121
II 連結売上高（千円）	—	—	292,155
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	44.4	1.1	45.6

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…韓国、中国、台湾、タイ

(2) その他の地域…南米、北米、欧州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。